



福岡医発 502 号(総)

平成 25 年 5 月 13 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

ＴＰＰ交渉への参加に反対し日本の食と農を守る福岡県ネットワーク主催
ＴＰＰ公開セミナー映画「シッコ」上映会・講演会のご案内

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ＴＰＰ交渉参加については、日本医師会は政府に、公的な医療給付範囲を将来にわたって維持すること、混合診療を全面解禁しないこと、営利企業（株式会社）を医療経営に参入させないことの３つの条件を明確にしているところですが、この度、ＪＡ福岡中央会が中心となって構成されている「ＴＰＰ反対福岡ネット」の主催により、標記ＴＰＰ公開セミナーが開催される旨、協賛団体として参加している本会宛に周知依頼がありました。

セミナーでは、アメリカの健康保険制度の実態をテーマにした、映画「シッコ（S i C K O）」の上映会と「ＴＰＰが医療に及ぼす影響（仮題）」と題した講演が行われます。

つきましては、会員並びに医療従事者へのご案内につきまして貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、お申込みにつきましては、別紙により、直接ネットワーク事務局へご連絡ください。

小郡三井医師会より

医業経営担当理事 廣瀬真恵
会長 蒲池 壽

TPP公開セミナー〔映画&講演〕

【5月24日(金) 12:45(12:15 開場)】

入場無料

映画『シッコ』上映

“地獄の沙汰も金次第”の医療状況にメス！

アメリカには保険に加入しない市民が4,700万人も存在する。WHO(世界保健機関)の調査ランキングで、アメリカの健康保険充実度は37位。映画監督マイケル・ムーアは、アメリカの健康保険制度が悪化していった事情を振り返る。

【内 容】

映 画：「シッコ(SICKO)」(123分)

★映画の内容は、裏面の映画紹介をご覧ください。★

講 演：「TPPが医療に及ぼす影響(仮題)」(60分)

〔講師〕ノンフィクション作家 関岡 英之氏

1961年、東京生まれ。1984年、慶應義塾大学卒業後、東京銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行、約14年間勤務の後に退職。2001年、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、執筆活動に入る。著書は、『なんじ自身のために泣け』(河出書房新社、2002年)、『拒否できない日本』(文春新書、2004年)、『国家の存亡』(PHP新書、2011年)など多数。

主 催…TPP交渉への参加に反対し日本の食と農を守る福岡県ネットワーク

日 時…平成25年5月24日(金) 12:45～(開場 12:15)

会 場…都久志会館 地階「ホール」

〒810-8583 福岡市中央区天神4-8-10 TEL:092-741-3335

☆お申し込みは、この用紙をネットワーク事務局にFAX(092-724-1218)またはEメール(nougyou@ja-fukuchu.or.jp)でお願いします。

ご住所 〒

お名前 TEL

参加人数 人〔ご本人を含んでご記入ください〕

※ 提供された個人情報は、中止等の緊急の連絡の際に使用いたします。

〔お問い合わせ〕ネットワーク事務局(JA福岡中央会農業対策部)

■TEL:092-711-3824 ■Fax:092-724-1218 ■Eメール:nougyou@ja-fukuchu.or.jp

「シッコ(S i CKO)」の紹介

ドキュメンタリー監督マイケル・ムーアが、4,700万人の無保険者だけでなく、保険料を支払っている数百人にもマイナスの影響を及ぼすアメリカの医療システムの実態を明らかにする。

カナダ、イギリス、フランスを訪れ、国民全員が無料医療の恩恵を受ける国の事情を見つめながら、アメリカの混乱した医療制度を浮き彫りにしていく。

“地獄の沙汰も金次第”の医療状況にメスを入れた M・ムーアの作品

アメリカでは、人口約3億人のうち保険に加入していない市民が4,700万人も存在する。WHO（世界保健機関）の調査ランキングで、アメリカの健康保険充実度は37位。映画監督マイケル・ムーアは、アメリカの健康保険制度が悪化していった事情を振り返る。その背景には、利益率アップを目標にする民間保険会社、そして彼らから高額の献金を受け取る政治家たちの姿がある。更に彼らは、公的医療保険制度の導入は社会主義への第一歩だと恐怖を煽り、現在の制度がベストであることを国民に刷り込んだ。保険会社は、自分たちに有利な法律が通るように政治家に大金を注ぎ込む。彼らの「目的」を果たし、都合のいい法律を通した政治家は、保険会社のトップに天下りをして年収2億円以上を稼いでいる。こうして一部の政治家と保険会社のトップが儲かるために、毎日のように一般人は命を落としていく。ムーアは、カナダ、イギリス、フランスを訪ね、それぞれの事情を探る。これらの国々では、医療は基本的に国が運営する保険でカバーされ、医師たちは保険にしばられることなく患者の健康のために仕事をこなしている。最後にムーアは、9.11で救命作業のために、健康が損ねられた救命員たちをキューバに連れて行く。なぜなら、キューバ南に位置するグアンタナモ海軍米基地ではアメリカで唯一の無償治療が受けられ、そこに収監されているアルカイダの一味はその恩恵に授かっているからだ。「9.11の英雄に容疑者たちと同じ治療を受けさせてくれ！」と基地に向かいムーアは叫ぶが、返事はない。ムーアは病人である彼らを“敵国”キューバの病院へ連れて行く。すると、その医者たちは無償で治療を施してくれた。ムーアは警鐘を鳴らす。利益を第一とする保険会社がすべてを牛耳るアメリカの医療システムはおかしい。だが、一般市民たちは何をすればいいのか。まずは、発想、生きる姿勢から考え始めてみよう、ムーアは観客に呼びかける。

